

令和6年4月30日発行



こぶし

学校だより 5月号
東久留米市立第十小学校
校長 大澤 宏史

あいさがひびきあう全校朝会 ・ 一年生へのやさしさ

校長 大澤 宏史

■毎週月曜日、8:35から全校朝会を行っています。

4月15日(月)には1年生も加わり、全校300名ほどが一堂に会する時間になりました。

全校朝会の最初は、6年生の挨拶から始まります。

4月15日(月)の6年生の挨拶は、4名の6年生が朝礼台の前に立ち、下のように行いました。

6年生A:「一週間のはじまりです！」
 6年生B:「十小のみんなで元気に朝のあいさをしましょう！」
 6年生C:「おはようございます！」(全校:おはようございます)
 6年生D:「今週から中休みに1年生が外に出るので、みんなで気を付けてあげましょう」

私は初めて見たのですが、この挨拶がとびきりいいです。

紙面では伝わりませんが、全校児童の目がパッと開かれるような、凛とした力があります。

十小にいる全員に、エネルギーのスイッチがパチッと入る・・・そんな瞬間です。

月曜日の朝、6年生の挨拶を耳にし、6年生の凛とした姿を目にできる十小は素晴らしいです。

『6年生はその学校の顔』と言われるますが、十小の顔として十分すぎる存在感です。こういう姿を見て、1～5年生は学校生活を過ごしていきます。過ごしていく中で、6年生の姿が文化として体に沁み入り、伝統として引き継がれていきます。

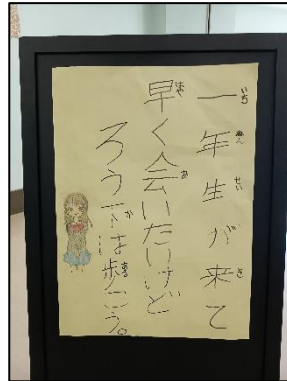
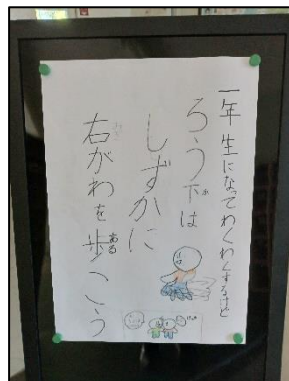
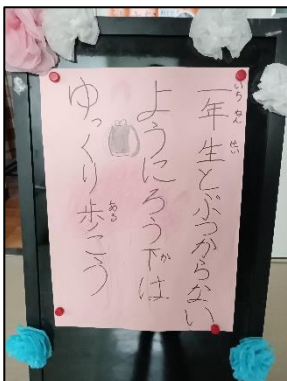
校舎に掲げてある「あいさがひびきあう十小」(写真)が、月曜の朝から始まっています。地域の皆様や保護者の方々にも、全校朝会で元気な挨拶をしている子供たちの姿を見ていただきたいです。



■先日、1年生を迎える会を行いました。十小の子供たちは、1年生を温かく迎えていました。

下の写真は校舎内に掲示してあるポスターです。

左:「一年生とぶつからないように ろう下はゆっくり歩こう」
 中:「一年生になってわくわくするけど ろう下はしずかに右がわを歩こう」
 右:「一年生が来て早く会いたいけど ろう下は歩こう」



代表委員会の子供たちが一年生のことをよく考えて作ったメッセージです。一年生への思いやりを感じます。子供たち同士で支え合おうとするたくましさも感じます。

十小に寄られた際は、子供たちの掲示物等、ぜひご覧ください。

